

NO	事業名	事業内容	成果指標	現状値 (H27年度)	実績見込 (H30年度)	目標値 (H31年度)	進捗概要（見込も含む）
1 圏域全体の経済成長のけん引							
1	新潟広域都市圏ビジョン懇談会の設置・運営	圏域内の産業界、大学、金融機関等の関係者により構成される新潟広域都市圏ビジョン懇談会を開催し、連携事業全体のフォローアップを行うとともに、今後の圏域の在り方について意見交換を行う。	新潟広域都市圏ビジョン懇談会の開催回数	1回	1回	1回	○2月 「新潟広域都市圏ビジョン懇談会」開催
2	新潟地域産業見本市開催	新潟市において開催している商談型産業見本市を、連携市町村内の企業の更なる参加を得て開催し、販路拡大や新事業展開の取組を促進する。	見本市における事前予約型ビジネス商談会 商談件数	172件	181件	200件	○10月 「にいがたBIZ EXP02018」開催 ○出展199社（前年度比15社増） 新潟市109社、三条市22社、燕市14社、五泉市2社、阿賀野市2社
3	首都圏等見本市共同出展	首都圏等で開催されている見本市に圏域内企業と共同出展し、発信力の強化と圏域内企業の新たな販路拡大を目指す。	見本市共同出展回数	—	1回	1回以上	○東京で開催される2月の「オリジナル商品開発WEEK」3月の「FOODEX JAPAN 2019」に新潟市内企業が出展（連携市町村に、当日招待券と新潟市ブース概要を記載したチラシの発送し、連携市町村からの視察を依頼） ○H31年度共同出店に向け、今後、出店方法を検討
4	新潟若手商人塾開催	若手経営者の育成を目的として実施している「にいがた若手商人塾」の受講対象を、連携市町村へ拡大し開催する。	連携市町村からの塾生受入れ割合	—	10.70%	10%以上	○5月～ 「新潟若手商人塾」開催＜年8回＞ （H30塾生28名中、燕市2名、三条市1名参加）
5	若年層ICTスキルアップ	ICT産業の未来の担い手を育成するために実施している中・高校生を対象としたプログラミング教室の受講者を、連携市町村へ拡大し開催する。	プログラミング教室の開催回数	—	1回	1回以上	○2月 「レゴブロックによる組込み教室」開催（小学生向けプログラミング教育）
6	NIIGATA SKY PROJECT	NIIGATA SKY PROJECTに参画する圏域内の企業による航空機部品の共同生産体制の確立や無人貨物飛行機の開発を産学金官連携で支援するとともに、国や県、連携市町村等との情報共有を図る。	情報交換の実施回数	—	1回	1回以上	○7月 新会社「新潟エアロスペース」設立（民間出資） ○2月 支援措置等で連携を図るべく燕市との意見交換会を実施
7	食材ブランド力強化	農水畜産物の広域的な販売促進のため、連携してプロモーションを実施し、地産地消と販路拡大に繋げ、農業経営基盤強化に寄与する。	他市町村と連携した農水畜産物のプロモーション実施回数	—	1回	2回	○11月 「全国ねぎサミット2018inにいがた」開催 ＜イベント来場者数：33,590人＞ ＜新潟広域都市圏PRエリア設置＞ （ブース出店：新発田市、聖籠町、三条市） （パンフレット設置：各連携市町村） ○3月 プロモーション用映像の完成 （新潟市及び連携市町村で活用）

NO	事業名	事業内容	成果指標	現状値 (H27年度)	実績見込 (H30年度)	目標値 (H31年度)	進捗概要（見込も含む）
8	外国人観光客受入環境整備	観光施設内表示の多言語化や宿泊業・飲食店のインバウンド対策支援などのほか、外国人観光客の需要が高い無料Wi-Fiの統一規格での整備を検討・実施する。	飲食・宿泊業売上金額（経済センサス）	140,296百万円 (H26年度)	—	147,311百万円	○2月 （株）ぐるなびとの連携により、飲食店向けセミナーを新潟市で開催
			【参考】 述べ外国人宿泊者数	4万2千人 (H26新潟市)	5万7千人 (H29新潟市)		
9	広域観光周遊ルート形成	圏域の観光周遊ルートを構築した上で、パンフレット等を多言語で作成し、首都圏や航空機内等で観光プロモーションを行う。また、圏域で開催されるコンベンション等（MICE）でパンフレットを配布する等、MICEにおける相互連携を行う。	飲食・宿泊業売上金額（経済センサス）	140,296百万円 (H26年度)	—	147,311百万円	○3月 新潟広域都市圏観光ホームページ公開
			【参考】 述べ外国人宿泊者数	4万2千人 (H26新潟市)	5万7千人 (H29新潟市)		
10	観光動向調査	ツアーセールスを効果的に行うため、携帯端末のGPS機能や在圏情報等により蓄積される位置情報を活用した観光客の行動、動態に関する調査など、ビッグデータやオープンデータを活用した来訪者の流動や滞在分析を共同で実施する。	飲食・宿泊業売上金額（経済センサス）	140,296百万円 (H26年度)	—	147,311百万円	○12月 圏域観光に関する意見交換会を開催（観光動向調査の分析結果活用）
			【参考】 述べ外国人宿泊者数	4万2千人 (H26新潟市)	5万7千人 (H29新潟市)		
11	新潟港クルーズ客船誘致受入	新潟港に寄港するクルーズ客船の誘致・受入に関し、情報と課題を共有し、連携して対策を協議・実施する。	新潟港へのクルーズ船寄港回数	7回	13回	7回以上	○新潟港クルーズ客船受入協議会を通じてPR事業を実施 ○H31年度寄港予定回数 15回
12	新潟市まちなか・観光交流拠点等整備	新潟市の文化、観光施設等を整備することで、圏域の中心市としての魅力向上、活性化等を図り、圏域内外からの人を引き付ける魅力的な空間創出等を推進する。	新潟市観光入込客数	2,005万6,710人 (H27年) ※水と土の芸術祭 開催年	1,862万520人 (H29年)	2,220万人	○各施設整備工事実施 ①新潟市水族館 ②旧新潟税関庁舎整備 ③古町エリア（花街、7番町） ④海辺の森 ④萬代橋周辺 ⑤万代島旧水揚場跡地 ⑦ビュー福島潟 ⑧上堰潟公園はH29で整備終了
13	新潟市北京事務所活用	新潟市北京事務所を活用し連携市町村の情報発信をすることで、経済や観光の交流促進を図る。	北京事務所を活用した連携市町村による情報発信数	—	5回	9回	○6市町村のパンフレットを北京事務所設置 ○連携市町村情報を新浪微博（ウェイボー）で発信

NO	事業名	事業内容	成果指標	現状値 (H27年度)	実績見込 (H30年度)	目標値 (H31年度)	進捗概要（見込も含む）
2 高次の都市機能の集積・強化							
14	高度医療サービス提供	新潟市における救命救急センターの充実により、新潟医療圏において高度な医療サービスを提供する。	新潟市民病院「急患外来」における二次・三次救急患者の占める割合	45.5%	51.3% (H29年度)	50.0%	○6月 在宅医療・介護連携推進事業近隣市町村情報交換会を開催 ○医療機関の適正受診等について普及啓発を強化するため関連記事掲載 11月 新潟日報ゴールデンタイムス 12月 新潟日報assh
15	新潟駅周辺整備	在来線の高架化や新幹線・在来線同一ホームによる乗り換えの利便性向上、また駅前広場や高架下交通広場の整備により駅南北の連続性を高め、圏域内外へのアクセス拠点としての機能強化を図る。さらに鉄道横断箇所における交通混雑を緩和するため、周辺道路の整備を行う。	新潟駅一日平均乗車人員数	37,446人	37,461人 (H29年度)	37,500人	○4月15日 高架化第1期開業 ○新潟市と連携市町村で、連続立体交差事業の直近の工事状況共有
16	新潟空港利用活性化	新潟空港の利用活性化を図るため、各市町村や関係機関と連携しながら新潟空港のPR事業を実施する。	他市町村と連携した各種イベント等開催回数	-	4回	6回	○アウトバウンドも含めた各種空港利用促進に関連するイベント情報や事業情報の共有、情報発信、ノベルティ配布を実施 [参考] ○H29年度新潟空港利用者数1,022,656人（前年度比31,309人増）
17	農業活性化研究センター活用	農業活性化研究センターで実施した栽培実証試験の結果を公開し、その活用を促進する。また農業者等向けに6次産業化や農商工連携に向けた支援（研修会・セミナー開催等）を行うとともに、栽培技術や品種選定の相談対応業務の対象者拡大等に向けた検討を行う。	研修会等開催回数	12回	11回	12回	6月～ 農業者・加工業者向けセミナー (1月末時点：参加者計131中、五泉市9名、三条市6名参加)

NO	事業名	事業内容	成果指標	現状値 (H27年度)	実績見込 (H30年度)	目標値 (H31年度)	進捗概要（見込も含む）
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上							
18	訪問看護普及啓発	在宅医療、在宅介護における看護職員の確保のため、二次医療圏域の市町や関係団体・機関等と連携して訪問看護研修会を開催する。	研修会開催回数	—	3回	1回	○12月 病院看護管理者研修会 (参加者39名中、五泉市2名、阿賀野市1名、阿賀町1名参加) ○1月 CanCanミーティングを燕・弥彦医療介護センターと共催開催 (参加者76名中、五泉市1名、阿賀野市2名、田上町1名参加)
19	子育て支援パスポート利用促進	妊婦及び小学生以下の子どもがいる保護者に対し発行している「にいがたっすこやかパスポート」について、連携市町村の協賛店舗でも特典が受けられるように検討・調整する。また連携市町村が実施している同事業については、新潟市の協賛店舗でも特典が受けられるように検討・調整する。	子育て支援パスポートの満足度	46.5% (新潟市)	63.5% (H29年度)	50%	○聖籠町、田上町と調整の上、H31年度からの連携方針の確定、共通マーク・協賛店用ポスターを作成 ○平成31年4月からの連携開始に向け、協賛店・市民への周知を実施
20	子育て支援センター相互利用	子育て支援センターの利用拡大に向けて、各市町村間で施設紹介やイベント情報のパンフレットを作成し、積極的な情報発信を行う。	新潟市外在住者利用数	5,726人	4,881人 (H29年度)	6,200人	○ウェブサイトを利用し、各市町村の主要施設紹介
21	公共施設等相互利用（公共施設等総合管理計画）	各市町村における公共施設等総合管理計画について、取組内容の向上を目指し、情報交換会を開催する。	公共施設総合管理計画に関する情報交換の開催回数	1回	1回	1回	○7月 個別施設計画の策定状況や公共施設の多機能化・複合化の取組等 について意見交換を実施
22	図書館相互利用	図書館について相互利用協定を締結し、各市町村相互の住民に対し、図書資料貸出等のサービスを実施する。	新潟市との相互利用市町村数	4市町村	9市町村	10市町村	○4月～ 9市町村と相互利用を開始。毎月、各市町村担当課から、前月の実施状況を翌月に報告をもらい、共有。 (参考) H30年度新潟市への連携市町村からの新規登録者数：594名（12月末時点） H30年度他市町村への新潟市民新規登録者数：391名（12月末時点）
23	公民館相互利用	各市町村が有する公民館について、住民の利便性向上を図るため、各市町村間の相互利用の促進について協議する。	公民館相互利用に向けた意見交換会の開催回数	—	1回	1回	○2月 相互利用にむけた追加調査および意見聴取を実施
24	スポーツ施設相互利用	各市町村が有するスポーツ施設について、住民の利便性向上を目的に、相互利用の促進について協議する。	スポーツ施設相互利用に向けた意見交換会の開催回数	—	1回	1回	○2月 スポーツ施設の利用促進に向け情報交換を実施
25	生涯学習人材バンク情報共有	生涯学習人材バンクに登録されている講師情報を新潟市及び連携市町村間で共有し、生涯学習の促進を図る。	新潟市との情報共有市町村数	—	5市町村	5市町村	○11月 情報・意見交換会を開催し、各市の人材バンクの登録内容や運用方法などについて情報共有。
26	文化・観光施設利用促進	各市町村で発行する広報誌等に、各市町村にある文化・観光施設の共通割引券を掲載することで、相互の入館者数増加を図る。なお、割引対象施設がない市町村は、新潟市水族館の割引券を広報誌等に掲載する。	共通割引券の各市町村広報誌等への延べ掲載回数	—	12回	11回以上	○共通割引券を各市町村広報誌に掲載＜割引対象9施設＞ ※来年度より割引対象施設を各市町村2施設に拡大
27	文化交流拠点施設等整備	音楽・舞台芸術の拠点としての「新潟市民芸術文化会館（りゅーとびあ）」を改修整備し利用促進を図る。	りゅーとびあの入場者数	383,272人	282,000人	390,000人	○施設整備工事実施（H28年度～H30年度） ※H30年度は各種工事のため前年比入場者減

新潟広域都市圏 平成30年度 連携事業進捗状況一覧

資料2-2

NO	事業名	事業内容	成果指標	現状値 (H27年度)	実績見込 (H30年度)	目標値 (H31年度)	進捗概要（見込も含む）
28	コンパクトシティの推進	立地適正化計画に基づき、コンパクトシティ・プラス・ネットワークに資する各種施策を、連携市町村と情報共有を図りながら推進する。	コンパクトシティの推進に関する情報交換の実施回数	—	1回	1回	○11月 立地適正化計画の策定状況、まちづくりにおける課題・方針等について連携市町村と情報共有 (参考) 立地適正化計画策定済5市（新潟市、三条市、新発田市、五泉市、胎内市）
29	新津丘陵西山三山観光情報連携発信	新津丘陵西山三山の魅力について、新潟市及び連携市町村によるガイドマップを作成し共同PRを行うとともに、案内表示のデザイン共通化やボランティアガイドの養成を行う。	新津丘陵西山三山ボランティアガイド養成講座開催回数	—	8回	4回	○ガイド養成講習8回開催 ○統一デザイン登山道案内標識設置
30	信濃川やすらぎ堤賑わい創出	魅力ある水辺空間の創出を図るため、民間資金やノウハウを活用した信濃川やすらぎ堤の有効活用を一層促進し、持続可能なエリアマネジメントの構築を図るとともに、水辺活用事業について、連携市町村と情報共有を行う。	水辺活用に関する情報交換の実施回数	—	1回	1回	○7～10月 「ミズベリング信濃川やすらぎ堤」実施 ＜利用者35,300人（前年度比900人増）＞ ○11月 事業を振り返り、運営課題等を取りまとめ情報提供、活用意向の照会を実施
31	潟ツーリズム	ラムサール条約登録湿地である佐潟及び瓢湖をはじめ、環境省が選定したラムサール条約湿地潜在候補地である福島潟、鳥屋野潟も加え、観光資源への有効活用を図り交流人口の拡大に向けた「潟ツーリズム」を提唱し、関連する取組を実施する。	ラムサール条約登録湿地等を観光資源とした意見交換の実施回数	—	2回	2回以上	○11月 意見交換会を開催し、名簿の共有とHPの連携について確認 ○3月 第2回意見交換会を開催し、学習会やモデルツアー実施等の次年度事業について打合せ実施
32	災害時相互援助	「災害時における近隣市町村相互援助協定」に基づき、災害時において各市町村が相互に援助しながら、応急対策及び復旧活動に取り組む。	相互援助に関する情報交換の実施回数	—	1回	1回	○国の災害支援への枠組みの構築、実災害を踏まえた改正も行われており、災害支援への情報共有を図ると共に、今後の活動方針について意見交換を実施
33	上水道の安定供給の推進	事故・災害発生時における水道水の安定供給のため、市町村を跨いだ緊急連絡管の整備の検討や受援マニュアルの作成などを行う。	新潟市と連携市町村との緊急連絡管の整備数	—	2市町村	3市町村	○緊急連絡管の整備検討に係る調査を実施し調査結果を共有。また、防災関係物資と受援マニュアルの作成に係る情報を提供 ○新潟市と燕市との個別協議を行い、次年度に計2路線の緊急連絡管を整備する旨、両市で合意
34	木質バイオマス供給推進	木質バイオマス事業の供給推進を目的として、各市町村間における木質バイオマス事業に係る情報を共有するため、情報交換会を行う。	木質バイオマスに関する情報交換の実施回数	—	1回	1回	○1月 情報交換会議を開催
35	ごみ処理施設相互応援	ごみ処理施設改修時等で炉を停止せざるを得ない場合に、各市町村間での受け入れが円滑に行われるよう、協議・合意形成を図る。	ごみ処理施設相互応援に関する意見交換会の開催回数	—	1回	1回	○2月 相互応援に関する基本的なルール作成に向けた意見交換会開催
36	広域交通（県内都市間高速バス）維持	県内都市間高速バスについて、利用状況を把握した上で、利用者の移動実態に合わせた運行形態を確認し、利用促進策を講じるとともに、事業者による自主運行が厳しい場合、代替策の検討及び行政による運行や支援を連携して行う。	広域交通維持に関する意見交換会の開催回数	—	1回	1回	○7月 各市町村の地域公共交通の現状と今後の連携の必要性等について、意見交換を実施 ○「新潟ー十日町線」における県補助の協調補助について、連携市とともに協議を実施 ○「新潟ー五泉線」において、新潟県補助に合わせ新潟市、五泉市、阿賀野市により協調補助を実施。また、利用促進に向けた連携協議の実施
37	生活交通（地域間幹線系統バス路線）維持	地域間幹線系統バス路線における利用状況を把握した上で、利用者の移動実態に合わせた運行形態を確認し、連携して利用促進策や維持活性化策を講じる。	生活交通維持に関する意見交換会の開催回数	—	1回	1回	○7月 各市町村の地域公共交通の現状と今後の連携の必要性等について、意見交換を実施

NO	事業名	事業内容	成果指標	現状値 (H27年度)	実績見込 (H30年度)	目標値 (H31年度)	進捗概要（見込も含む）
38	生活交通（コミュニティバス）確保	地域間幹線系統バス路線によりカバーされていない地域において、移動実態を把握した上で、社会実験などを行いながら、行政が主体となり市町村をまたぐコミュニティバスの運行を連携して行う。	生活交通確保に関する意見交換会の開催回数	—	1回	1回	○7月 各市町村の地域公共交通の現状と今後の連携の必要性等について、意見交換を実施
39	パーク&ライド推進	現状の移動実態を把握した上で、新たに公営パーク&ライドとして活用できる駐車場整備適地の検討を行うとともに、既存の公営パーク&ライド駐車場の相互利用促進を図る	パーク&ライド推進に関する意見交換会の開催回数	—	1回	1回	○7月 各市町村の地域公共交通の現状と今後の連携の必要性等について、意見交換を実施 ○新津駅P&R駐車場における利用促進策を五泉市、阿賀野市と連携し実施
40	国県道整備	新潟市と連携市町村の交流・連携強化のため、道路ネットワーク機能を充実する国県道の整備を推進する。	国県道供用延長	653.3km	656.4km	656.4km	○国県道整備を実施するとともに、新潟市における整備計画等について情報共有
41	移住・定住促進	人口減少に対応するため、各市町村の魅力や移住促進支援策等の情報発信を相互に行うとともに、移住交流イベント等へ共同出展し、東京圏等からの移住・定住促進に取り組む。	イベント共同出展の回数	—	1回	1回	○10月 地方創生プロジェクト「移住・交流フェア」共同出展（新潟市ほか4市町が共同出展）
42	職員研修交流	各市町村で行っている職員研修に派遣交流することで、異なる角度での物の見方や、課題解決に向けた手法の検討などを通し、職員の資質向上を図る。	職員研修交流市町村数	—	4市町村	6市町村	○8月 「女性リーダー育成研修」（新潟市主催）に連携市町村より計6名参加（五泉市2名、阿賀野市1名、新発田市2名、燕市1名） ○11月 「性的マイノリティ支援職員研修」（新潟市主催）に連携市町村より計12名参加（五泉市2名、阿賀野市3名、新発田市6名、燕市1名）
43	水道分野専門別研修	新潟市が開催している水道分野の各専門技術研修について、連携市町村の各事業体職員も受講することで、専門的な知識や技術力の向上を図る。	合同研修会の開催回数	2回	2回	2回	○7月 前期専門別研修を実施（連携町村職員述べ39名参加） ○11月 後期専門別研修を実施（連携市町村職員延べ10名受け入れ）
44	教職員人材育成	各市町村が独自に行っている教職員研修等に相互に参加できる体制を整えるため、新潟県及び各市町村間で情報交換と検討を行う。	教職員人材育成に関する情報交換の実施回数	—	1回	1回	○7月 県教育庁と今後の教職員研修のあり方について意見交換を実施
45	職員派遣交流	新潟市と連携市町村の間において職員の人事交流を行い、業務を通じた職員の連携強化等を図る。	職員派遣交流市町村数	2市町村	4市町村	5市町村	○4市町村（三条市、五泉市、阿賀野市、聖籠町）と職員派遣交流を実施 ○職員交流市町村拡充に向け協議を実施
46	教職員交流	各市町村における先進的な取り組みを情報共有し、各学校へフィードバックすることを目的として、教職員の人事交流について情報交換と検討を行う。	教職員交流に関する情報交換の実施回数	1回	1回	1回	○7月 県教育庁と今後の教職員交流のあり方について意見交換を実施

※目標の設定年度が平成31年度となっていることから、次回目標設定に合わせて指標のあり方を検討